

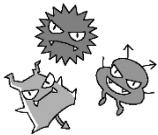


生活指導だより

～努力・全開・飛躍～



町田市立南中学校
生活指導部 植木 ユミ
令和3年9月10日(金) NO.8
9月号：検温・手洗い・換気・マスクの着用



手洗いの6つのタイミング



2学期がスタートして2週間が過ぎました。2学期は1年の中で最も長い学期です。生徒会活動や委員会、部活動などでは3年生から1、2年生にバトンが渡され、3年生にとっては進路選択において重要な学期でもあります。そして、10月には南中の二大行事である体育大会、合唱コンクールも予定されています。それだけに計画をしっかりと立て、目標に向かって邁進する学期にしてほしいです。

さて、現在、猛威を振るう新型コロナウイルスですが、感染しやすいと言われているデルタ株に置き換わり、感染が進んでいます。学校での感染拡大防止に向け、皆さんには3つのお願いがあります。

1つ目は、毎朝の検温、手洗い、換気、マスクの着用を今一度徹底してください。特に、手洗いですが各クラスに掲示されている【**手洗いの6つのタイミング**】覚えていますか。外から教室に入るとき、咳やくしゃみ、痰をかんだとき、屋食の前後、掃除の後、トイレの後、共有のものを触ったとき。この**6つのタイミングは意識的に手洗い**をしましょう。また、朝少しでも体調が悪ければ無理をせず、自宅でゆっくり休みましょう。

2つ目は、体育の授業、部活動、休み時間など怪我などには十分に気を付けて落ち着いた生活を心掛けてください。ニュースで毎日言われている通り新型コロナウイルスの影響で医療現場は逼迫状況にあります。万が一学校で怪我をした場合、なかなか見てもらえる病院が見つからない場合があります。

3つ目は、感染症は誰でもかかる可能性があります。もし周りの友達で感染症にかかってしまい、また元気になって登校できるようになったら温かく迎えてあげてください。近年、今までは違う生活形式に変化していく中で、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっています。新型コロナウイルスを含め、感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗り越えましょう。

この状況がまだ続くと言われていますが、コロナ禍であっても工夫してできることが必ずあります。先生たちもそれを一生懸命に考えます。だからみなさんも「どうせ無理」などと後ろ向きな考えではなく、この状況下だからこそできることに目を向け、希望を捨てずに前向きに何事も努力してください。そして、何より人と人とのつながりを大切にしてください。

安全指導 9月

～ 災害発生時の対応について ～

9月の安全指導は「災害発生時の対応について」です。毎年9月1日は防災の日です。防災の日とは、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害についての知識を深め、これに対処する心構えを準備することとした日本の記念日」です。防災の日は1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、1960年(昭和35年)に制定されました。

災害はいつ起こるかわかりません。災害が発生しても落ち着いた行動が取れるように、災害時の心構えを日頃からしておきましょう。

裏面には、東京都防災ホームページに掲載されている、地震発生時の行動の手引きです。この機会に確認してください。また、南中学校は地域の広域避難場所にも指定されています。町田市のホームページにも「町田市防災マップ：南地区」がありますので、確認してみましょう。



大きな地震が起きた

火事などの危険がない



- 役所・警察・消防から避難の指示があった
- 火事が広がってきて危険になった

 一時集合場所へ（小・中学校、近所の公園）
近所の人たちが集まって様子を見る場所
集団で避難するための身近な集合場所

危険で一時集合場所に行く余裕がない

一時集合場所が安全

一時集合場所が危ない



避難場所に避難（大きな公園・広場）
火事の危険から身を守り、
鎮火を待つ場所

火事の危険がなくなった



家に被害がない



家に被害があり生活できない



家に戻る



避難所に避難（小・中学校）

家の倒壊・焼失などにより自宅で生活できなくなった人たちがしばらく生活する場所